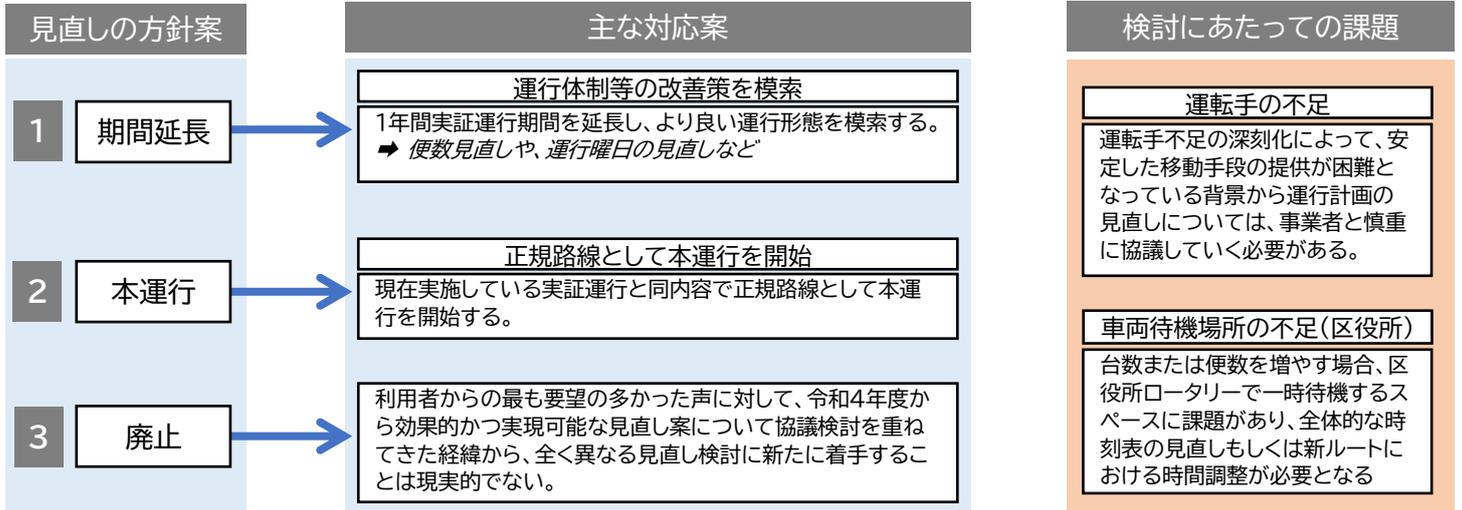


1. 主な検討課題

(1) 実証運行期間終了後の四谷ルート、神田ルートについて【期間延長/本運行/廃止】

これまで検討してきた風ぐるまの見直し方針に基づいて、令和6年度は実証運行を実施している。現在までの実績等を踏まえ、運営方針を検討し、運行協議会事務局にて令和7年度予算を計上していく。

令和7年度以降の四谷、神田ルートの運行について実現可能かつ効果的な見直しを模索する。



(2) 車両更新時の EV バス化における主な課題

現行のディーゼル車7台のうち6台は平成 27 年、1台については平成 30 年から使用しており、今後、車両更新が必要となるが、EV バス化に伴う課題を考慮しつつ検討をしていく。

メリット

デメリット

EV バス	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の削減につながる ・騒音や揺れが少なく、利用環境に優れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・EVバスを長期的に利用した実績が他団体でもないため、不具合等の不測の事態が発生する恐れがある ・専用の充電設備を導入した駐車場所が必要 ・電気バスのメーカーが限られているなか、区内の道路事情に合った車両を探す必要がある
ディーゼルバス	EVバス導入の懸念である不具合等の不測の事態を避けることができ、これまで通りの運営が可能	EV バス化による CO2 排出の削減が出来ない

2. 検討スケジュール

- 令和6年度 第1四半期 : 実証運行の開始、乗降人数等のデータ蓄積
 第2四半期 : 令和7年度運行体制の検討、運行協議会、予算要求
 第3四半期 : 新年度に向けた各関係機関との調整
 第4四半期 : 新年度からの運行体制についての周知案内
- 令和7年度 第1四半期 : 令和7年度風ぐるま運行開始